

なぎそ 議会だより

住民懇談会・平成28年11月臨時会

11月19日(土) 南木曽会館

住民懇談会を開催しました



住民懇談会の前半には、木曽保健福祉事務所長 西垣明子氏より「地域医療構想と木曽地域の医療提供体制について」ご講演いただきました。

木曽医療圏の人口構成推計や入院患者数からみて必要な病床数のこと、救急医療の状況など、木曽地域の医療の今後を考えるためのお話を聞くことができました。

小雨の降る寒い日でありましたが、約30名の方が会場へ足を運んでくださいました。

参加した皆さまからの貴重なご意見は、次ページに概要を掲載させていただきました。



住民懇談会での意見：坂下病院関連、議会への要望	13P
11月臨時会：9月23日豪雨等による災害復旧事業補正の審議など	14P
全員協議会：議会と町の意見交換（坂下病院の経過報告）	14P～16P
委員会報告：中津川市議会とリニアで合同会議など	16P

**住民懇談会
坂下病院関連**

今年6月以降、国保坂下病院についていろいろなことが起きています。医師不足で外科診療が8月から閉鎖し、9月からは救急医療が制限されています。

一方で中津川市は、国の政策に基づく病院のベッド数の見直しや財政面からの検討を行い、6月末に坂下病院の診療所化というひとつのプランを住民に示しました。これに対して南木曾町を含め周辺の多くの利用者が不安を訴え、病院機能の存続を求めるといった状況になっています。

今回の懇談会でお聞きしました皆さんのご意見や要望などの概要をお知らせします。

男性(70代)
今までの経過は聞いたが、今後は12月の結論を待つということか。

女性(60代)

議会の要望書は受け取ってもらえなかったようだが、その後の要望は12月の結果を待って考えるのか。医師不足の問題は認識しているが、坂下病院だけの問題ではない。県境であることも含め、もっと県や国へ働きかけなければいけないか。在宅介護では医師がいなければ無理、診療所になれば医師は減る。

子ども、孫のために国や県を巻き込み、運動を起こさなければと思うので「南木曾の医療を守る会」を立ち上げた。議員の皆さんにも参加協力していただきたい。

男性(80代)

国の福祉政策の問題だ。懇談会の参加者も少なく、意識の低さを感じてる。

署名はしたが、その後の関心が薄い。

女性(80代)

県境の地域のことを

考えて欲しい。

男性(70代)

県境の医師問題は以前からあったが協議する場もあった。突然の問題に驚いているが諦めてはいけない。存続に向けて活動すべきだ。住民が一体となり危機感を共有し「南木曾の医療を守る会」の立ち上げに賛同する。

女性(70代)

12月に中津川市長の出す方針はどういうものか。

市議会の動きはどうか。賛否両論あると思うが存続賛成の議員と連携できないか。

女性(60代)

以前から医師不足の問題はあったが住民に知らされておらず置き去りにされたようでおかしい。

男性(70代)

「中津川市公立病院地域協議会」で意見を述べても、ふがいない

困惑している。

今日は力強い応援を得て頑張る勇気が湧いてきた。

男性(70代)

署名活動以降、住民の意識が冷めている。坂下地区と中津川地区の温度差を感じている。「坂下病院を支える会」と連携し、南木曾でも活動すべきだ。組織的な活動を起こし、市街地の住民にも訴えるべきだ。

男性(60代)

議会の出している5項目の要望を、町の方向性として整理してはどうか。

**住民懇談会
議会への要望**

男性(70代)

一般質問で一つの質問に長い時間をかける議員がいるが、傍聴で多くの意見を聞けるようもう少し短くしてほしい。

男性(60代)

議会の広報が少なく議会活動がわかりにくい。ケーブルテレビでの中継、インターネット配信など行って欲しい。

男性(70代)

高齢者が増えており、役場庁舎の階段昇り降りも大変であり、バリアフリー化を要望する。町・地域振興協議会・議会が一丸となり、様々な問題に取り組んで欲しい。

男性(30代)

「議会だより」いつも読んでいます。難しいことばかりでなく、放課後子ども教室の移転の事など、子育て世代の親にも関係し興味を引く議会報を要望する。

男性(70代)

「議会だより」を楽しみに読んでいます。議会が出された質問などが町政に反映されているのか結果が知りたい。議場は立派な造りですが、議会以外の有効活用を考えてはどうか。また、

傍聴席は入りやすいよう工夫して欲しい。

**議会のあり方
特別委員会**

委員長 早川 親利

当日は雨の中、約50名の町民の皆さまに集まっていただきありがとうございました。

西垣所長には、「木曾地域の医療構想について」詳しくご講演いただきました。

また、第2部では、坂下病院存続のご意見以下、議会に対して多くの意見をいただきました。坂下病院関係につきましましては、医師の僻地への確保など県や国へ要望活動を行っていきます。

一般質問のあり方、ケーブルテレビ、バリアフリー等の意見については、議会の中で協議し、よりよい方向を目指していきたいと思っております。

今後も町民の皆さまのご支援、ご協力をお願いします。

11月臨時会 審議議案

●特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例等の改正

国家公務員の給与改正に準じて、特別職の職員で常勤の者（町長・副町長・教育長）の期末手当を年0・1か月分引上げるものとす。

●議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

国家公務員の給与改正に準じて、期末手当を年0・1か月分引上げるものとす。

●一般職の職員の給与に関する条例の改正

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改正に準じて、一般職の職員の給与を改定し、勤め手当の年0・1か月分引上げ及び扶養手当の見直しをするものとす。

●専決処分事項の報告 事故の和解及び損害賠償の決定

町道蘭広瀬線において、枯損木が台風接近の影響で落下し、車両を破損させた事故について賠償した処分の報告です。

●専決処分事項の報告 一般会計補正予算（第4号）

9月23日の豪雨等による災害復旧事業で、農業用施設等の復旧経費を989万4千円補正しました。

●一般会計補正予算（第4号）に関する質疑

説明資料の災害復旧額と予算額に差異があるのはなぜか。

坂本議員

A 土のうやバリケードなど特定できない災害現場の経費があるためです。

Q 上の原の土捨場の管理はどうなっているか。

A 今回の大雨で土砂が流失したため、国交省が大型土のうで処置をしています。

意見 将来的に地主に返す前に土砂流失など維持管理上問題が起きないよう国交省としっかり話を詰めてほしい。

高橋議員

Q 町道大妻籠線のり面が崩落した原因は、事前に対応できなかったのか。

A 道路排水が原因です。事前に嵩上げしてありましたが、水が何か所に集中したことにより災害となっていました。

意見 日ごろの点検・整備により災害を減らすようお願いする。

早川議員

意見 説明資料の被災状況に、落石、倒木や土砂流失とあるが規模がわからないので次回から数量を明記してほしい。

北原議員

Q 災害復旧事業債の利率は他の起債と同じか。

A 利率は0・2%程度ですが、交付税の措置率が95%と高くなっています。

近藤議員

Q 事前に現地確認や地元への説明をするためにも次回から事前に資料提供できないか。

A 金額の確定の関係もありませんが、事前に資料提供をしていきます。

全員協議会 議会と町の意見交換 —(11月21日)—

・坂下病院の経過報告

経過

坂下病院に関して町が関わってきた内容について報告がありました。8月6日の住民説明会以降の動きについて以下に示します。

8月18日：地域振興協議会長会議で署名活動決定

8月31日：坂下・山口・川上・馬籠・南木曾の8団体で、中津川市長に要望書を提出（南木曾町の署名3235名）

9月16日：南木曾町役場にて中津川市による現状説明会（南木曾町・大桑村の職員及び議会議員対象）

9月26日：坂下総合事務所で医師確保に関する懇談会。第2次要望書の提出（南木曾町の署名916名追加し、合計4151名）

10月18日：第1回中津川市公立病院地域協議会（地域協議会）開催、南木曾町から地域振興協議会長会議の代表参加、「地域協議会」

は、住民の意見を市や市長に提示する、市長は12月中に市の方針を決める予定
 10月31日：坂下病院院長と副院長との懇談
 11月1日：南木曾町まちづくり会議で経過報告し、市への提言のとりまとめ
 11月4日：中津川市へ提言書送付
 11月7日：中津川市より8月31日に提出した要望書の回答（注）
 11月19日：町議会の住民懇談会
 11月21日：第2回「地域協議会」開催、質疑への回答・提言書についての協議、12月14日に協議会としての提言をまとめる方向
 11月22日：中津川市副市長と南木曾町との会談
 12月14日：第3回「地域協議会」開催予定
 注：（参照）南木曾町ホームページ・住民課健康しあわせ係 国民健康保険 坂下病院について

坂本議員

Q 10年先の地域医療をどうするかだが、シナリオ2の坂下病院診療所化はスケジュールのな面も分かりにくい。地域医療構想の中味を、介護の問題なども含め、市のほうから示してもらいたい。高齢化で病床数はむしろ増えるのではないかなどは県とも連携しながら研究できないか。

A シナリオ2のスケジュールについて確認するとともに、病床数の将来に向けた考え方について県と連携し研究したいと思います。

意見 最寄りの病院が無くなると、介護の問題なども含め、町づくりができないという深刻な問題だ。町の覚悟した対応が必要だ。県・国への働きかけも含め、町づくりの方向が見えてくるような町の姿勢を示して欲しい。

近藤議員

意見 19日の住民懇談会では住民の中から切実な意見が出ている。「南木曾の医療を守る会」を発足したいという意見もあり、住民運動として協力していきたい。

病院機能縮小の根本的な原因は、医師の確保ができないことだ。研修医制度が関わっており、岐阜県側だけでは難しい面もある。長野県議会、県選出議員に働きかける必要がある。また、住民運動だけでは解決できる道が難しい。

高橋議員

岐阜県議、長野県議とも話をしている。長野県選出の国会議員や、岐阜県の国会議員、岐阜県にもお願いしなくてはいけない。地方創生を謳っている中で地方創生を潰す政策はよくないことから厚労省

へも行くべきではないか。
 12月の補正に費用を盛れるか。

A 要望のための費用は、議会から要求があれば検討できます。12月の議会には間に合います。

関連意見

北原議員

相手のあることなので、議会ですら、また委員会などで検討する必要があります。

伊藤議員

Q 11月18日の信毎に、宮島喜文参議院議員の厚労委員会での発言が出ている。病床数の削減地域が出てくるが住民に情報を提供し理解を得ることが大事である。また都道府県が地域医療の充実を求めており、国が配分する額は十分な金額と言えるのかなど、塩崎厚労大臣はご指摘の通りと応

じたとある。

私たちが何もしないというのはおかしい、腹を決めて議員も町も訴えていくべきと思う。

中津川市とリニアの懇談会があり、大井副市長に話をした。町で調達できないものは、中津川市に依存していることも考えて欲しいと伝えた。

A 病院の問題は、いろんなところからいろんな声を上げ、中津川市に考えていただくという事です。

話は二つあります。一つは、地方に医者がない問題に取り組んでいくことです。町としては、機会あるごとに県や国会議員へ話をしているほか、公式の場でも医者の偏在の問題についてお願いしています。県の町村会の要望書に、国への提言として取り上げてもらい、国会や議員にも提出しました。

この問題については、政府与党で専門委員会

を作り調査すると言っており、厚労省でも調査を始めると聞きました。今こそもっと地方からも声を出していきたいと思えます。

もう一つは、坂下病院の存続の運動については、それぞれ立場を考慮しながらやっていく必要があります。病院を残したい、機能を縮小したくない思いはみなさん一緒です。例えば町の行政自体が中津川市のやることに真っ向から反対と言うことは通常できないこととであり、要望や協議といった形をとりながら話を進めざるを得ません。

同様に議会は議会のやり方や方法をとりながら伝えていく必要があると思っております。

中津川市民の多くが、坂下病院は何らかの形で必要だ、もっと考えるべきだといった形になることが大切です。市街地までは声が届いていないのではないのか、他の方法ではどうなの

かなど、いろいろな角度から考えながら進めていく必要があるのではないかと思われます。ただし、時間は限られています。できることを工夫しながら効果的に声を届けることが大切と考えられます。

意見 中津川市民に聞いても、坂下病院はなすべきという意見は多いと思う。こちらで動かない限り存続はあり得ないと思っている。

高橋議員

意見 時間がなく、わらにでもしがみつかなくてはならないというのが南木曾町の置かれている立場ではないかどこへでもがむしやらしがみついでいかなくてはならない、そんな気がしている。

早川議員

意見 中津市議会では坂下病院を何とかしたいという思いは少なく

感じる。

19日の住民懇談会では、議会も国や県へ住民の声を持って欲しいという意見があつた。時間がなくなりに、町と議会が一緒に南木曾町の意見を中津川市へ伝えることで、少しは変わってくるのではないか。

山崎議員

Q 中津川市の提示したシミュレーションは、新公立病院改革プランの2025年にいきなり着地点をもつて行くのではなく、坂下病院を中心とする地区の人口減少、利用者の減少、病床数などを見比べて、1年ごとのような段階的な検討ができないか。

A 近いうちに会議を予定している副市長へ伝えていきたいと思えます。話を伺う中で、こちらの意見も伝え、向こうの話も聞いていくことになります。

国有林対策特別委員会報告

木曾森林管理署南木曾支署との意見交換会を行いました

11月24日午後、長者畑搬出間伐現場、額付本谷治山工事の現地視察と木曾森林管理署南木曾支署との意見交換会を開催しました。

南木曾支署での意見交換会では、支署から平成28年度の事業説明があり、質疑など交わされました。

【意見交換の一部】

- ・ 治山堰堤の木型型枠は地元産材？→業者が検討。
- ・ 蘭国有林の林道が民有地前で止まっているが？→町の計画との調整も必要だ。
- ・ 森林管理に地域の人材が必要では？→そう感じている。



蘭国有林：ウッドライナーによる集材作業

リニア新幹線対策特別委員会報告

中津川市議会との第2回合同会議を開催しました

11月14日午後、中津川市健康福祉会館多目的ホールにおいて南木曾町議会のリニア新幹線対策特別委員会と中津川市議会のリニア中央新幹線対策特別委員会とで合同会議を開催し、意見交換会を行いました。

中津川市では岐阜県駅（美濃坂本）および道路など市内周辺整備を重点施策として、リニア効果で活性化に結びつける考えです。

南木曾町議会は、住民の生活環境を守るためトンネルから出る残土処理、運搬、水資源などの諸問題のリスク削減に努め、協定書の締結に努力することを述べ、リニアのアクセス道路となる田立から坂下間の道路改良に協力していただくように市議会へ要望しました。

リニアの通る隣接市町として、今後もこの会議を継続し、課題と情報を共有していきます。



健康福祉会館における意見交換会のようす